

環境活動レポート

平成29年度版（H29. 7～H30. 6）

作成日：平成30年8月27日



エコアクション21[®]

認証番号 0001125



花昭建設 株式会社

HANASHO KENSETSU

1. 環境方針

《基本理念》

花昭建設株式会社は、環境への取り組みとして、建設業（舗装工事主体）における、省資源、省エネルギー、廃棄物削減に重点を置き、社会のニーズに応えるべく、リサイクルにも会社全体で取り組むことを使命とする。

《行動指針》

- ① 省資源 資源の再利用、再生利用を進める。
- ② 省エネルギー 太陽光発電等を積極的に導入し、自動車のアイドリングストップなどを進んで採用し、二酸化炭素の排出、削減に取り組み、エネルギーの効率的な利用をはかる。
- ③ 廃棄物削減 材料の必要数量を限定し、出来るだけ廃棄物を排出しないようにし、分別可能なものに関しては、リサイクルを行う。
- ④ リサイクル 分別回収を全社的に見直し、ゴミの少量化、エコマーク商品等の環境にやさしい商品の積極的購入に努める。
- ⑤ 整理整頓 現場の後片付け、整理整頓を徹底し、ほこり・粉塵対策を行う。
- ⑥ 舗装工事 工法を検討し、省エネルギー、廃棄物削減工事を実践する。
- ⑦ 土木工事 インフラ整備（社会環境整備）における騒音・振動対策を行う。
- ⑧ 水道施設工事 取水、配水施設の築造設置による、水質汚濁を防止する。
- ⑨ ボランティア 道路清掃を積極的に行って、地域環境衛生の向上に努める。
- ⑩ 環境関連法規等を遵守する。

以上のことを踏まえ、企業活動と地球環境に積極的に取り組み、良き企業市民として地域社会に貢献する。

制 定 平成18年3月1日

改 定 平成28年7月1日

花昭建設 株式会社

代表取締役 花籠 二義

2. 事業活動の概要

① 事業社名及び代表者氏名

事業所 花昭建設株式会社
代表者氏名 代表取締役 花籠 二義

② 所在地

本社事務所 〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿272番地
モータープール 〒861-0535 熊本県山鹿市南島上ノ丁278-2

③ 沿革

創業開始 1958年11月(昭和33年)
法人設立 1967年12月(昭和42年) (株式会社)

④ 事業内容

特定建設業 舗装工事業、土木工事業、水道施設工事業
とび・土工工事業、鋼構造物工事業、塗装工事
熊本県知事許可 (特 - 25) 第 2922 号
許可年月日 平成25年11月10日

⑤ 事務の規模

資本金 2,000万円
事務所床面積 70㎡

⑥ 活動規模

※事業年度 期首：7月 1日～期末：6月30日

	単 価	第49期	第50期	第51期
		H27.7～H28.6	H28.7～H29.6	H29.7～H30.6
売 上 高	百万円	261	331	281
工 事 実 績	件	28	27	23
従 業 員	人	14	14	13

⑦ 環境管理責任者及び担当者連絡先

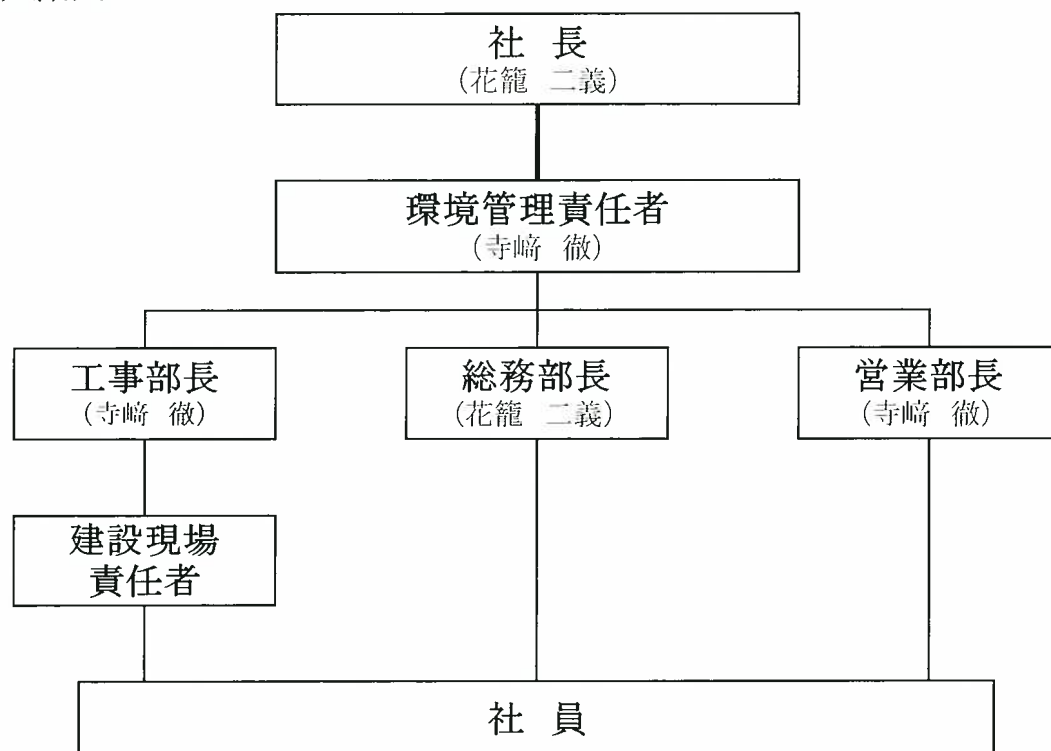
環境管理責任者：寺崎 徹
連絡先 TEL：0968-43-3765
FAX：0968-43-3766

E-mail: E-mail：display@hanashou-kensetsu.co.jp

HP：www.hanashou-kensetsu.co.jp

3. 環境活動実地体制

《組織図》



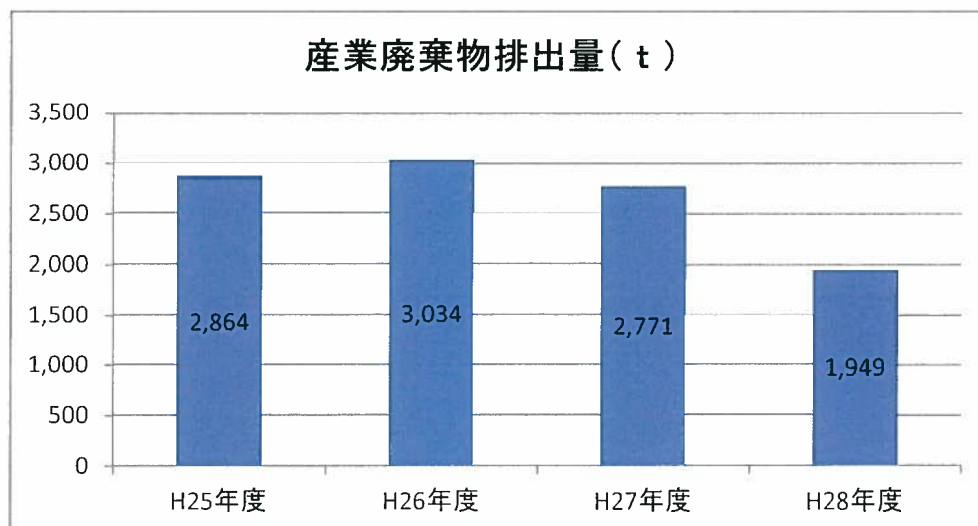
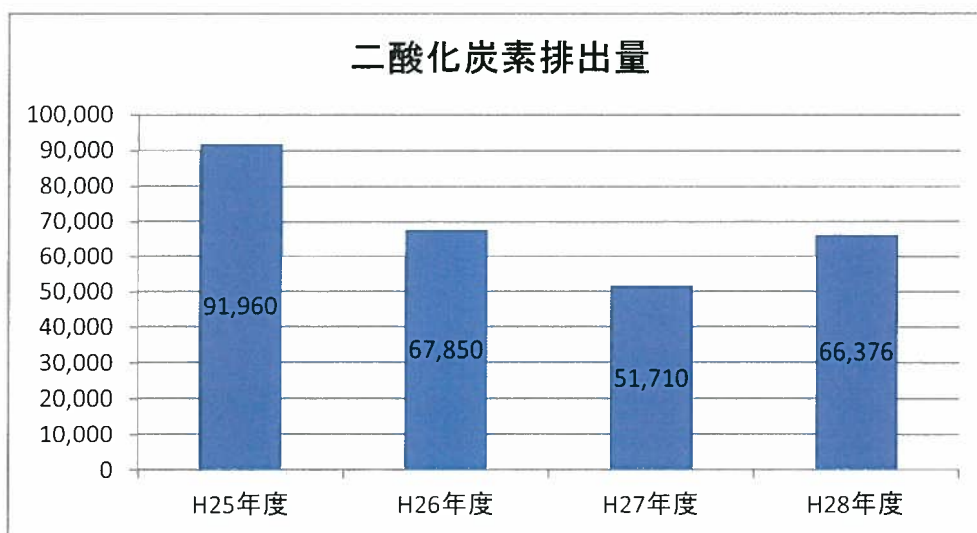
《責任及び権限》

	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限	
社 長	・環境経営マニュアルの承認 ・環境方針の作成 ・実施体制の構築 ・単独部門での使用社内文書の承認 ・教育・訓練計画書の承認	・定例会議の主催 ・代表者による全体的見直し ・環境活動レポートの承認 ・環境に関する苦情、クレームの最終決着
環境管理責任者	・環境経営マニュアルの作成 ・環境への負荷及び取組の自己チェックの実施 ・緊急事態に対する手順のテスト	・教育・訓練計画書の作成 ・環境活動レポートの作成 ・定例会議への出席 ・部門活動状況の整理及び報告
工事部長	・単独部門での使用社内文書の承認作成 ・緊急事態に対する手順のテスト	・部門活動状況の整理及び報告 ・定例会議への出席
建設現場責任者	・関係者への活動の指示及び説明 ・活動状況の整理及び報告	
総務部長	・単独部門での使用社内文書の承認作成 ・環境負荷データの集計と、報告	・部門活動状況の整理及び報告 ・定例会議への出席
営業部長	・単独部門での使用社内文書の承認作成 ・マニフェストの管理(工事毎管理)・保管	・部門活動状況の整理及び報告 ・定例会議への出席

4. 環境負荷の推移

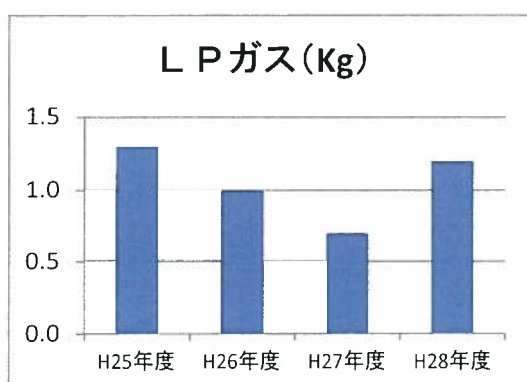
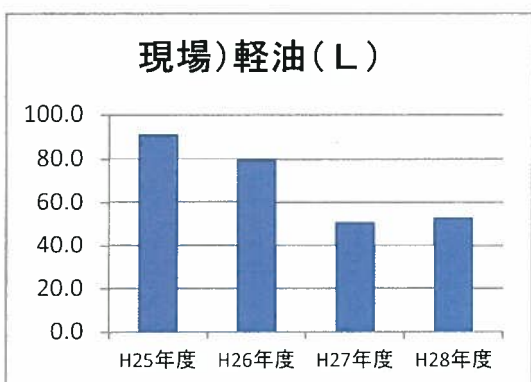
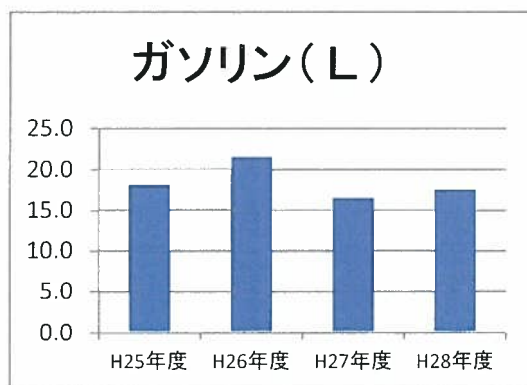
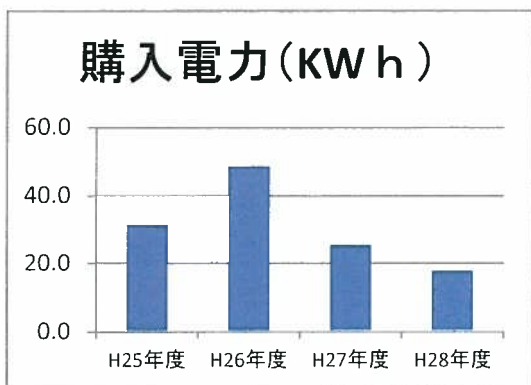
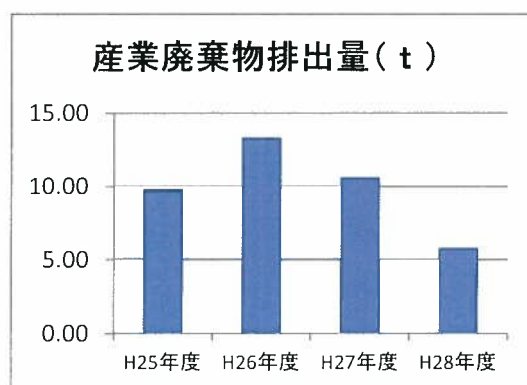
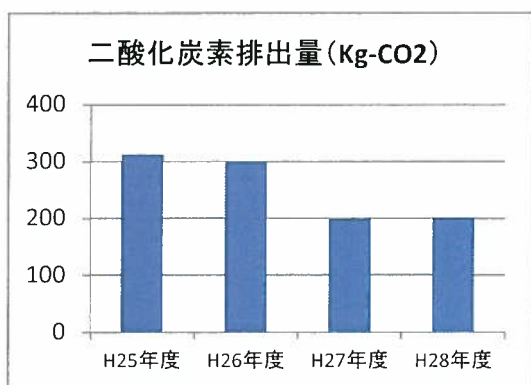
《過去の実績》

項目	単位	平成25年度 (H25.7～H26.6)	平成26年度 (H26.7～H27.6)	平成27年度 (H27.7～H28.6)	平成28年度 (H28.7～H29.6)
		基準年	実績	実績	実績
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	91,960	67,850	51,710	66,376
購入電力	KWh	9,161	11,092	6,597	5,848
ガソリン	L	409	3,603	1,907	2,814
現場)ガソリン	L	4,887	1,342	2,421	2,987
現場)軽油	L	26,875	18,195	13,356	17,653
LPガス	Kg	400	250	190	430
産業廃棄物排出量	t	2,864	3,034	2,771	1,949



《過去の実績の100万円当たりの実績》

項目	単位	平成25年度 (H25.7～H26.6)	平成26年度 (H26.7～H27.6)	平成27年度 (H27.7～H28.6)	平成28年度 (H28.7～H29.6)
		基準年	実績	実績	実績
売上高	百万円	294	228	261	331
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	312.7	297.5	198.1	200.5
購入電力	KWh	31.1	48.6	25.2	17.6
ガソリン	L	18.0	21.6	16.5	17.5
現場)軽油	L	91.4	79.8	51.1	53.3
LPガス	Kg	1.3	1.0	0.7	1.2
産業廃棄物排出量	t	9.7	13.3	10.6	5.8



5. 環境目標設定

項目	単位	平成28年度 (H28.7～H29.6)	平成29年度 (H29.7～H30.6)	平成30年度 (H30.7～H31.6)	平成31年度 (H30.7～H31.7)
		基準年	目標	目標	目標
		—	1%削減	2%削減	3%削減
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	66,376	65,712	65,048	64,385
電力使用料	KWh	4,733	4,686	4,638	4,591
電力使用量(現場)	L	1,115	1,104	1,093	1,082
ガソリン	L	2,814	2,786	2,758	2,730
ガソリン(現場)	L	2,987	2,957	2,927	2,897
軽油(現場)	Kg	17,653	17,476	17,300	17,123
LPガス(現場)		430	426	421	417
産業廃棄物排出量	t	1,949	1,930	1,910	1,891
一般廃棄物リサイクル率の向上	%	分別100%	分別100%	分別100%	分別100%
産業廃棄物リサイクル率の向上	%	100%	100%	100%	100%
環境に配慮した取組	河川汚濁水・流水流出	件	0	0	0
	騒音振動・環境苦情	件	0	0	0
	地域周辺の清掃活動	日	22	23	24
	環境関連法規等違反	件	0	0	0
	グリーン購入の促進	品	2	3	4

※電力の二酸化炭素排出係数については、九州電力平成24年度の0.612を使用した。

《100万円当たりの目標》

項目	単位	平成28年度 (H28.7～H29.6)	平成29年度 (H29.7～H30.6)	平成30年度 (H30.7～H31.6)	平成31年度 (H30.7～H31.7)
		基準年	目標	目標	目標
		—	1%削減	2%削減	3%削減
売上高	百万円	331	—	—	—
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	200.5	198.5	196.5	194.5
電力使用料	KWh	14.3	14.1	14.0	13.9
電力使用量(現場)	KWh	3.4	3.3	3.3	3.3
ガソリン	L	8.5	8.4	8.3	8.2
ガソリン(現場)	L	9.0	8.9	8.8	8.7
軽油(現場)	L	53.3	52.8	52.3	51.7
LPガス(現場)	Kg	1.3	1.3	1.3	1.3
産業廃棄物発生量	t	5.9	5.8	5.8	5.7

※ 水道使用量について本社事務所は、前社長の自宅と共同の為、正確な使用量は計測できない。
 モータープールについては、井戸水を使用しているが、メーターがない為、正確な使用量が計測できない。
 水道使用量の数値目標をかせがず、節水に努める。

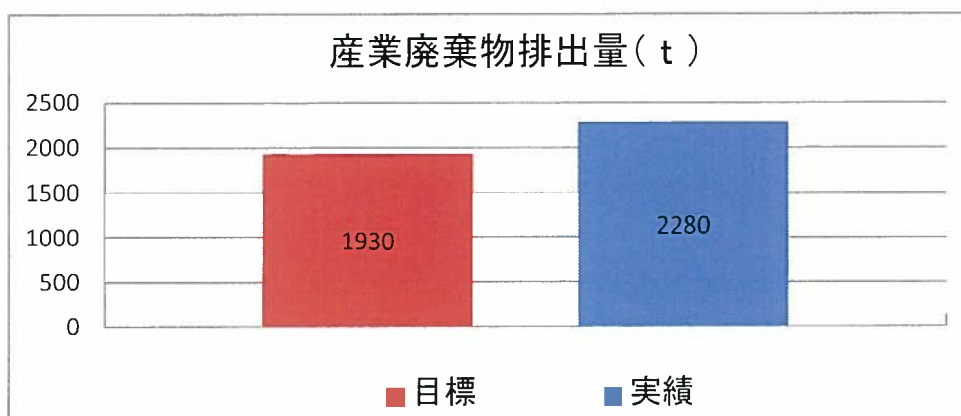
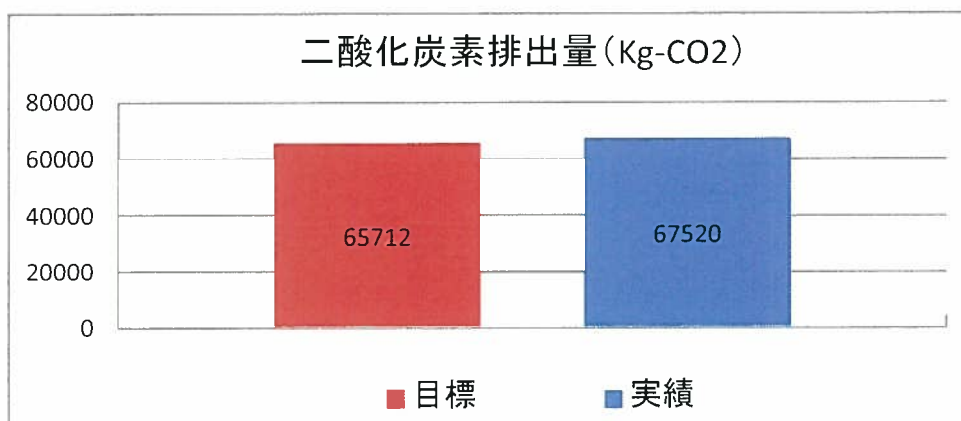
6. 環境活動の取り組み内容と評価・今後の課題

	活動計画の内容	達成状況	評価と今後の課題
総務・営業部門 (寺崎 徹)	不在時のパソコン電源OFF	△	・外出時等の声かけにより改善する
	エアコンの温度管理	△	・設定目安の張り紙等で周知
	不必要箇所・昼休みの消灯	◎	・定着出来ている
	エアコン・照明器具の掃除	○	・次年度は定期的ではなく、利用状況に合わせて掃除する
	社内書類の裏紙(白黒コピー)徹底	○	・個々の意識改革が必要。張り紙を増やすなどで改善する
	リサイクルゴミの分別を徹底	◎	・山鹿市のリサイクル法に基づき、引き続き取り組む
	エコドライブの実地	○	・声かけ等で外出の二度手間を改善する
現場部門 (花籠二義)	エコドライブの実地	○	・工事場所によって左右される声かけにより意識向上に努める
	アイドリングストップの実地	◎	・現場代理人により、毎日の使用機械ごとに確認している
	燃料使用量の把握	◎	・作業日報・給油表に記入し把握できている
	現場に見合った重機の選定	○	・工事内容に見合った使用をしている
	不必要な道具等の積載禁止	◎	・個々の意識が定着している。
	機械重機の点検整備を徹底する	◎	・使用時にその都度点検
	毎日終了の際、現場の掃除を徹底する	○	・施工中などで、困難な時もあるが声かけ等で、個々の意識をたかめる。
	不在時のエアコン照明の消灯	△	・熱中症予防の為現場事務所でのエアコンOFFは、なかなか実地できなかつた。
	環境美化(ボランティア等)	○	・工事の工期や天候により左右される
	産業廃棄物の適正処分	◎	・マニフェストに基づき適正に処理が出来ている
全従業員 (花籠二義)	水道の節水	○	・水道使用料は数値目標をかかげず節水の取り組む
	講演等の参加	◎	・消防署に危険物等の講話の依頼をした
	環境関連法規を遵守確認	○	・定例会等で確認
	グリーンマーク・エコマークの購入	○	・当社に必要な商品のリストを作る

7. 環境目標の実績

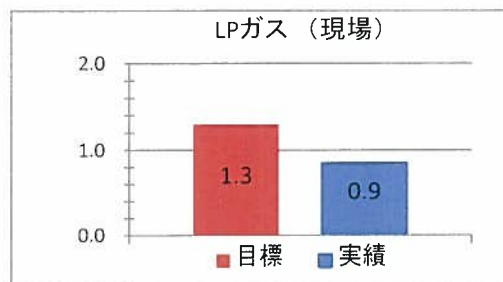
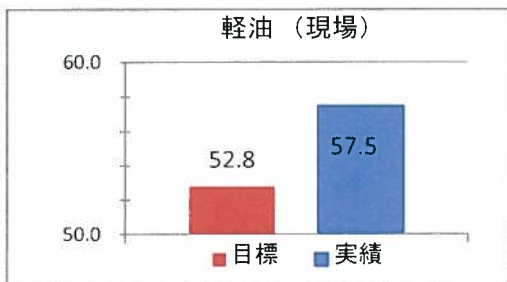
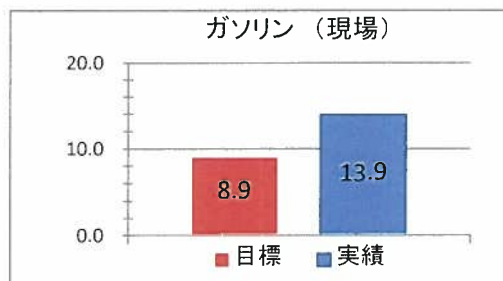
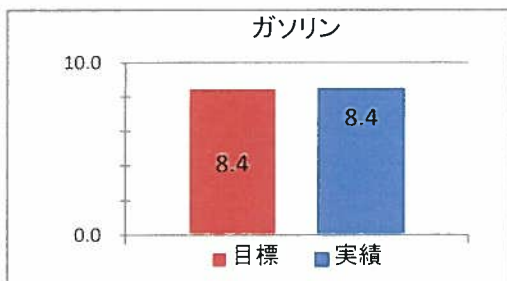
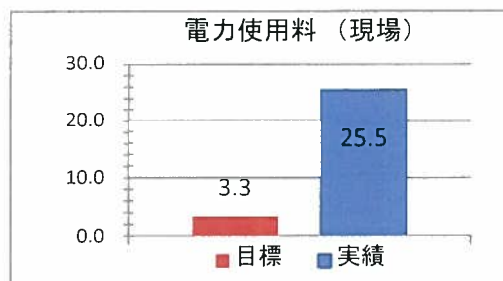
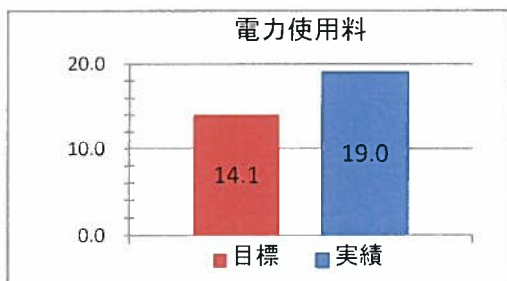
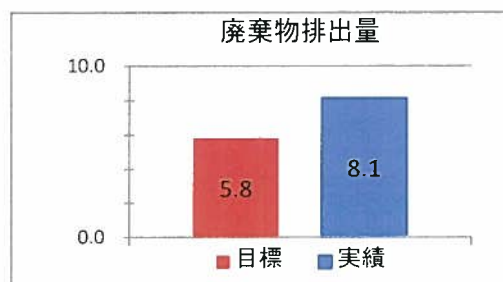
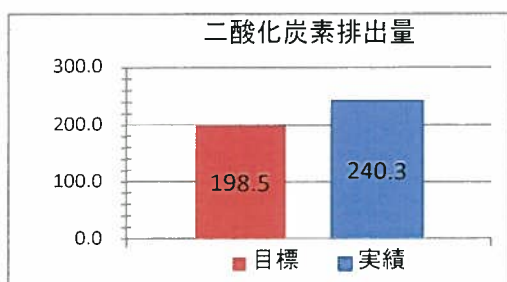
項目	単位	平成28年度 (H28.7～H29.6)	平成29年度 (H29.7～H30.6)	平成29年度 (H29.7～H30.6)	達成率
		基準年	目標	実績	
		—	1%削減		
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	66,376	65,712	67,520	97%
電力使用料	KWh	4,733	4,686	5,348	88%
電力使用量(現場)	L	1,115	1,104	7,158	15%
ガソリン	L	2,814	2,786	2,368	118%
ガソリン(現場)	L	2,987	2,957	3,899	76%
軽油(現場)	Kg	17,653	17,476	16,151	108%
LPガス(現場)		430	426	240	177%
産業廃棄物排出量	t	1,949	1,930	2,280	85%
一般廃棄物リサイクル率の向上	%	分別100%	分別100%	分別100%	100%
産業廃棄物リサイクル率の向上	%	100%	100%	100%	100%
環境に配慮した取組					
河川汚濁水・流水流出	件	0	0	0	100%
騒音振動・環境苦情	件	0	0	0	100%
地域周辺の清掃活動	日	22	23	16	144%
環境関連法規等違反	件	0	0	0	100%
グリーン購入の促進	品	2	3	4	133%

※電力の二酸化炭素排出係数については、九州電力平成24年度の0.612を使用した



《環境目標の100万円当たりの実績》

項目	単位	平成28年度 (H28.7～H29.6)	平成29年度 (H29.7～H30.6)	平成29年度 (H29.7～H30.6)	達成率
		基準年	目標	実績	
		—	1%削減		
売上高	百万円	331	—	281	—
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	200.5	198.5	240.3	83%
電力使用料	KWh	14.3	14.1	19.0	74%
電力使用量(現場)	KWh	3.4	3.3	25.5	13%
ガソリン	L	8.5	8.4	8.4	100%
ガソリン(現場)	L	9.0	8.9	13.9	64%
軽油(現場)	L	53.3	52.8	57.5	92%
LPガス(現場)	Kg	1.3	1.3	0.9	149%
産業廃棄物排出量	t	5.9	5.8	8.1	72%



8. 建設業に係る環境関連法規等の遵守状況のチェック

	環境法規制等の 名称及び略称	適用される事項	評価具体的確認内容	担当	遵守状況確認	
					確認日	評価
1	廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	産業 廃棄物 ・産業廃棄物保管基準の遵守 ・建設廃棄物処理委託契約(契約書の締結、保管) ・マニフェストの管理(A、B2、D票、E票の回収) ・マニフェストの期間内返却(90日以内または、180日以内) ・マニフェストの保管(5年間) ・建設廃棄物処理計画・実施報告書作成	・2次文書運用文書ファイル(教育、訓練) ・建設廃棄物処理委託契約書綴 ・産業廃棄物処理実績表 ・産業廃棄物処理実績表 ・産業廃棄物処理実績表 ・産業廃棄物処理実績表	寺崎 堤	7/6 工事毎	遵守
2	建設リサイクル法	・廃棄物の再資源化等の促進等に関する基本遵守 ・発注者への計画等報告義務 ・発注者への完了報告義務 ・再資源利用計画を施工計画に添付	・2次文書運用文書ファイル(教育、訓練) ・仕様書及び施工報告書(現場別ファイル) ・仕様書及び施工報告書(現場別ファイル) ・仕様書及び施工報告書(現場別ファイル)	寺崎	7/6 工事毎 工事毎 工事毎	遵守
3	騒音規制法	・発注者への計画等報告義務 ・特定建設作業実施届出書提出 ・条例の規制基準以下を遵守	・仕様書及び施工報告書(現場別ファイル)	社長	工事毎	遵守
4	振動規制法	・発注者への計画等報告義務 ・特定建設作業実施届出書提出 ・条例の規制基準以下を遵守	・仕様書及び施工報告書(現場別ファイル)	社長	工事毎	遵守
5	排出ガス対策	・発注者への計画等報告義務	・仕様書及び施工報告書(現場別ファイル)	寺崎	工事毎	遵守
7	建設業法	・工事事業者登録と更新及び、技術者登録	・2次文書運用文書ファイル	寺崎	工事毎	遵守
8	消防法	・少量危険物の取扱い(法9条の4) ・火気の使用に関する規制(法9条)	・少量危険物貯蔵・取扱い変更届出書 ・市町村条例で定める	社長	H30. 3 6/30	遵守 該当なし
9	特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	・特定家庭用機器をなるべく長期間使用 ・再商品化に必要な料金の支払い	・管理表	吉本	6/30	該当なし
10	資源の有効な利用の促進に関する 法律(PCRリサイクル法)	・分別し、再資源化を適正に実施するものに引き渡すように努める	・業者への引き渡し	吉本	6/30	該当なし
11	使用済小型電子機器等の再資源化の促 進に関する法律(小型家電リサイクル法)	・分別し、再資源化を適正に実施するものに引き渡すように努める	・業者への引き渡し	吉本	6/30	該当なし
12	山鹿市一般廃棄物処理	・事務所等からのゴミの分別、可燃物、不燃物、リサイクル	・毎月第1、第3水曜日資源ごみ分別	吉本	その都度	遵守

・環境法規制の遵守活動を徹底し、遵守評価を行った結果環境関連法規制への違反はありません。

・環境関連についての訴訟及び、外部からの指摘の発生はありません。

9. 代表者による全体の評価と見直し

実施年月日：平成 30年 8月 31日

代表取締役 花籠 二義

代表者による全体の評価

本年度も社員一丸となりエコ活動を行ってきました。

発注工事の増加に伴い仮設電機の設置個所の増加、

また、長期に渡っての昼夜間の電力使用(動力)が増えました。

同じように、燃料・LPガスも現場数に比例して増加しました。

次年度も現場数の増加が見込める為、新たな工夫を行いCo2削減に努める事を

社員全体に徹底する。

代表者による環境経営システムの各要素の見直し

	変更の 必要性	変更の必要性有りの場合の指示事項
1. 環境方針	☐ 有・ ☒ 無	平成28年7月1日 改訂済み
2. 環境目標	☒ 有・ ☐ 無	平成29年度実績をもとに、平成30年度から3年間の目標設定を行う。
3. 環境活動計画	☐ 有・ ☒ 無	
4. 環境経営システムの その他の要素	☐ 有・ ☒ 無	